

当事者の声



リコーダーをふいている絵を書きました。ぼくは、絵を描くことが好きです。

(濱田茂雄)

『未完』 曾根 朗
人は何かを頼らなくては生きていけない人は何かをキズつけて 自分をどのようにかたちでも悲しんだり悔やんだり何かを求めて一生、一日一年、恥じることもあっても
そう、僕らは未完、一〇〇%でもないたとえ親に甘えたくても、親はいつかは亡くなる
友もいつかは知るだろう
一人で生きてても、僕らは未完、決して一人前じゃない
怖くて、どうしようかと悩んで人前では大人の顔をして明るくふるまっている何かを失う、怖さをかかえて僕にとって誰かとの、未完
決してできる人じゃないから歳を重ねる怖さがあるから、おカネがなくなる怖さを知っているから
人に頼って生きていくから 僕は不安

“暴力”暴言も全くなり今は幸せ

川口 英一

いま振り返ると、失職してイライラしている時など、病からくる躁のため、自分を抑えられなくなって、家族に体で当たる“暴力”(傷つけたことはありません)を加え、暴言を吐いていました。現在はそのような“暴力”も暴言も全くなりしました。

“暴力”がなくなった原因は訪問看護師さんに「今度親に暴力ふるったり、ものを壊したら、姫路の山奥に措置入院」と言われ、「こりゃいかん」と思い、ぼくは創価学会に入り、33年になります。学会第二代会長戸田城聖先生が「精神病を30年やったら必ず治る」と言われました。ちょうど治る時期が来たのでしよう。お題目を一日10時間7か月唱え続けました。すると、そういう暴力・暴言の気持ちがすっかりなくなりました。

今は毎日散歩と一日5時間のお題目を続けています。毎日、薄紙をはがすように脅迫神経症と妄

お願い ~賛助会員になってください~

NPO法人そよかぜねっとは、精神しょうがいのある人たちが安心して、自分らしく、自立して暮らせる地域創りを目指し、就労継続支援B型事業「やすらぎ工房」の運営、啓発・広報、地域交流活動を行っています。

一人でも多くの方のご理解とご支援を願っています。

年会費：個人2千円・団体3千円

(会費は、法人の運営費に充当されます。)

~ご賛同頂ける方は、下記電話までご連絡ください~

払込用紙(手数料不要)を送らせていただきます。

☎ 0794-85-9990 ・ FAX 0794-60-4533

一人暮らしをしようと思う 織田 精悟
入浴は毎日、食事はきちんとしてとる訪問看護とヘルパーは上手に利用すること
一日一個 することはあれこれ考えずにまず、一個と決めること
近所の人と仲良くすること
それは、自分の生活が潤いますタバコは吸わない、(部屋も汚れます)
一〇時前には寝ましょう。夜更かしは体を壊します
何か趣味を見つけましょう
散歩は毎日時間を決めてする
出来るだけ、規則正しい生活をする。
当たり前のことですが、結局行きつきたい想いはこんな感じですが、一人で暮らしは障害があっても、なくてもいつしよです

編集後記

信州無言館主催「七十年目の夏、祈りの絵展」を丹波美術館で鑑賞、作者戦没画学生の多くは二十歳代で戦死。愛する家族・自然をキャンパスに残すべく、兵に行く直前まで絵筆を握った、無言の祈りが作品から伝わり、涙が出そうだった。日本から遠く離れた戦場でどんな想いで死地に立たされたのだろうか。三木市役所の戦争展での地元の戦死地図を連想した。
なぜ、オーストラリア近くの島々まで侵攻したのか・・・たまたま、すぐ近くの村(現細川町)に集団疎開した70年前を思い出し、平和な日々をふりかえった。(伊東)

どこかの危険大国、危険半島の国民でなくてよかったと思う大事故が続くが、鉄道で死者のみでも107名の尼崎脱線事故は”日本のS号”と言ってしまう。巨大地震のリスクが言われ、火山活動の活発化を日増しに実感する中でも、為政者と産学は”安全基準はクリア”していると、原発再稼働を許した。今後も多くを再稼働させようとする。安全だから信じて原発電力を使いなさいといわれている格好ながら、福島の大津波に想いを致すと、私は”日本のS号”から即時に下船したい気持ちになる。この夏も自宅はエアコン無しで終わろうとしている。(ひざき)

就労継続支援B型事業所 やすらぎ工房

〒673-0521 三木市志染町青山1丁目26番地 ☎ 0794(85)9990 FAX 0794(60)4533 yasuragi-koubou@maia.eonet.ne.jp

兵庫県、全国一の障害年金不支給率からわかること

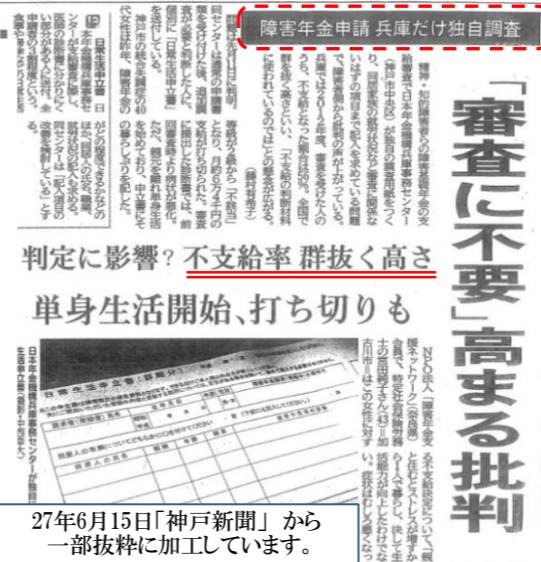
理事長 伊東久雄

障害者とその家族の命綱は障害年金

全国約700万人の障害者の中で障害年金受給者は195万人と推定(2012.3)されるが、精神障害者323万人の内52万人受給。受給資格があっても受給できていない、あるいは厳しい受給条件で無年金の問題があるが、働きたくても、障害のためにまともに働けない当事者と支える家族(年金生活の高齢者が大多数で障害年金あればこそ安心して支援できる)の命綱は障害年金(障害基礎年金2級/月65,008円が大多数)である。

誰でも心の病や障害に侵されるかもしれない人生でのセーフティネット、憲法第25条生存権を実現する社会の相互扶助の制度です。

しかし、公平であるべき認定審査の実態で、障害基礎年金の「不支給」割合に、都道府県間で最大6倍の地域差が判明、申請の約7割を占める精神・知的障害で認定方法が各地で異なり、国は格差是正に動き出した(『通信第14号』編集後記)はず---



↑ 県で61.3% (= 等級非該当件数46 ÷ 決定件数75)、全国平均15.4%の中で異常な高さである。

兵庫県は精神障害年金6割の不支給率!

神戸新聞の6月15日報道によると、障害年金が2級「不該当」で打ち切られた統合失調症の女性は「親と住むとストレスが増すから一人暮らし、決して生活能力が向上したわけではなく、症状が悪くなっているのになぜ」という。また、「働き続けると等級が下がる」のは「就労して自立を促す」厚労省方針と矛盾し、同居家族の就労状況など審査に関係のない項目まで記入を求める日本年金機構兵庫事務センター独自の『日常生活申立書』を作っていて、2015年度の兵庫県の精神・知的障害者の障害年金不支給率は56%で群を抜く高さ等--と記事になった。

同じ厚労省統計で精神障害の等級非該当<不支給>割合(申請者数ではなく、<1, 2級>『決定件数』を分母とする)は兵庫

Table with 3 columns: 精神障害, 知的障害, 合計. Rows include 兵庫, 大分, 佐賀, 徳島, 岩手, 宮崎, 秋田, 総計.

「不支給で病状が悪化・・・」家族の怒り噴出

6/24兵家連(兵庫県精神福祉家族会連合会)総会後の意見交換で県下の家族会から、「今まで受給していたのに、更新時に三度再申請したが却下され、本人の病状が悪化した」「その実態を知って、それだけでウツがひどくなった」などの怒りの声が噴出した。やすらぎ工房通所者の一人は障害が改善しないのに同じように不支給になり生活保護を受けている。

7/8県社協主催の権利擁護部会で「平成28年度県社会福祉政策への提言」について、この問題改善の県社協重点提言が提出された際、手をつなぐ育成会代表が知的障害は一生変わらないのに障害等級が下げられた例等(その実態調査中)をあげ、年金機構県担当者の仕打ちに怒り、「人としての心があるのか」と切々と意見され、兵家連も要望、各提言は集約精選されて県知事に具申される。

「ワークルーム虹」で事務職体験中！

やすらぎ工場の施設外で就労支援訓練を行う場として、市役所2階に庁内作業所「ワークルーム虹」があります。三木市と事業受託契約を結んで、主として事務補助作業に従事しています。

やすらぎ工場のメンバーが、週2日、1日4名(作業が多い時はプラス2名まで増員)が、工房職員2名とがんばっています。「ワークルーム要員」として登録しているのは、現在6名ですが、体験予定の人が数名いるので増えていく可能性があります。就労を目指している人たちが、いろいろな経験ができるようにすることが目標です。

補助的事務とはいうものの根気と集中力が必要な作業が多く、また印刷の作業は、機械との戦い(?)↑

↓&立ち仕事なので体力も要ります。納品の際には重い荷物を地階から5階まで運んで汗だくになることも・・(もちろんエレベーターは使いますが・・・)

昨年からは、隣保館(志染町吉田)に向向いて、スキャンやPC操作の作業も始まり、仕事の幅が広がってきました。また、市の職員さん達を含め様々な人とうまくコミュニケーションを取ること大切と考えています。「エレベーターに乗るときは、降りる人を待ってから」とか「来庁者の人から、〇〇課の場所を訊ねられたら案内する」とか、やすらぎ工房から一步外の社会に出て経験を広げ訓練する機会になれ嬉しいです。(柴田真紀)

クラブ活動始動中♪

やすらぎ工房では、昼休みを利用してクラブ活動を始めています。私が担当しているのは、将棋サークルです。先頃、準優勝に終わった女子サッカーW杯にならい、「やすらぎ杯」と銘打って、2階の和室で希望者による総当たり戦を行っています。昼休みでは勝敗がつかず、引き分け再試合など熱戦が繰り広げられています。

また、8月からは「きらきら書道」を主宰されている書道家の藤原常貴先生をお招きして、書道クラブも発足しました。作業中のみならず、昼休みの「やすらぎ工房」にも是非お立ち寄り下さい。(中井啓之)



書道クラブ「きらり」 第1回合同作品

詩は本名酒井田美子さんの作、43歳で亡くなった当事者です。遺族の承諾を得て掲載(西宮家族会会報より転載)

エッセー「何が起こるか----」

彼女の母、酒井文子さんが「家族会立ち上げて20年 当事者・家族とともに」と題して、2008年ほのぼの会で講演。娘さんのことも聴いたのが昨日のように思い出される。ああ

酒井さんは篠山家族会「みちくさ」と作業所を立ち上げ、兵家連理事として、家族相談にも尽力されたが、不幸にして交通事故による高次脳機能障害で3年前に逝去された。

過日、最初に担任した67歳の教え子が突然、我が家に来た。息子が屋根工事の最中に転落、今は意識もない高次脳機能障害で北播の病院に入院中とか、彼は「人生、何が起こるかわかりません、しかし----」と喋り続ける。「障害年金を申請して」という。たしかに。私たちは死ぬまで、何が起こるかわからない、それが人生だと思

づく。「絵を描かなくても、ピアノを弾かなくとも私たちは日々遺書を書いている」の言葉(無言館長 窪島瀬一郎、作家水上 勉氏は父)をかみしめたいものだ。ああああああああああああああああああああ(伊東久雄)ああああ

春 待子

「わたしの青空」
忙しきにおわれて
ホット一息付いた時
青空はぬけるような秋晴れだった。
この地球のこれからの未来も
同じ時代を生きた人達も、子孫のためにも
強く生きていこう、後悔のないように
したい事はいっぱいしようよ
自分のために、もっとかるやかに
恵まれた環境に感謝して、
平成の美しい時代を、自分で作っていこうよ
私はそうする、自分の為に

~~鳥原手延そうめん~~

お買上げありがとうございました

- 52箱 (前年57箱)
- 純益3.2万円 (前年3.9万円)

多くの皆様からご協力をいただきました。

純益は、利用者の工賃・ボーナスの支給額改善の原資に使わせていただきます。冬には、鳥原手延うどんを販売します。その折にもよろしく願います。

何がこの理不尽さをもたらしたのか

先に年金情報流出事件があった時、国会で追及されて明らかにされたように、年金機構全国約300か所の事務職員約2.2万人の半分以上が非正規有期職員である。前記の神戸新聞記事によれば、社会保険庁時代は「できるだけ支給してあげよう」の意識があったのに、事務処理誤り件数等の成績重視で法にはないマニュアル偏重で「効率第一」の事なかれ主義がはびこっているとする。

障害年金を申請して不支給と判定されたり、更新時に支給を打ち切られたりした人が不服を申し立て、国が審理、決定した件数が2014年度は約6,500件に上り、10年前に比べ3.5倍に増えた。不服申立て件数は昔と比較にならないほど増えているのに、約50年前から申し立てを審理する態勢は変わっていない。(共同通信2015.7.19)。

過日の兵家連主催の障害年金勉強会で社労士

声を上げ始めた

日本障害者協会は5月、障害年金の運用について地域格差を厳格化の方向で統一化することに反対、無年金障害者救済の拡大等の緊急要望書を厚労省に提出。7月日弁連は生存権保障の観点から格差是正の具体的な提言をした。

兵庫県精神保健福祉士協会から、以上の実態は法の下での平等に反し、精神障害の特性に対応した適切な審査を求めた要望書を県障害福祉審議会へ提出した。理不尽な現実に抗して声を上げていく支援者・当事者団体・家族等の動きも出始めている。以上に関して、神戸新聞だけでなく全国メディアでも報じてほしい。

は、審査結果がわかるまで2年必要と説明した。

個人的な例だが、15年ほど前、息子の厚生障害年金3級の不服申請をして半月で2級裁定の通知！、社会保険庁の素早い対応に驚いた(同年9月に決定簿本が届いた)。その時の不服申請は年数件と聞いた。

障害年金がだめなら生活保護？ 2013年、戦後初めて大幅な受給額削減と扶養義務強化が決められたが、生活保護の補足(漏給)率1~3割で先進国と比べ大変貧しく、生保受給者数から保護基準以下の生活者は受給者含め1,000万人と推測される(参照「生活保護から考える」稲葉剛/岩波新書)。

障害者インターナショナル日本会議(DPI)の声明「障害年金等が極めて不十分で生活保護が自立へ重要な役割、扶養義務強化が大きな打撃になる」---

障害者・弱者いじめの福祉後退の流れを恐れる。



足元から、できることは？

これらの実態等をより多くの市民の皆さんに知ってもらうべく書きました。障害年金制度は複雑、見えない中途障害の精神障害の判定も難しい側面があり、より学習の必要を感じている。

当事者支援でそれぞれの立場でできることを足元から考えていければと願っている。(2015.7.16記)

【参照:「障害年金というヒント」社労士チーム
「精神障害者生活支援」青木聖久教授】

~※《平成27年度通常総会 2015年6月25日》概略報告 ※~

- (出席13名、委任状0名/正会員総数14名)
- ◆議事: 平成26年度 事業報告・収支決算報告、業務・会計監査報告・・議案書どおり承認
- ◆報告: 平成27年度事業計画・予算、法人会員状況(正会員14名、賛助会員14名)等

《やすらぎ工房新施設長 紹介》

平成26年4月から施設長、26年6月から理事として尽力された門脇深雪氏が自己都合で退職され、後任として元主任・理事の北上亜矢子氏が今年4月より新施設長に就任している。(サービス管理責任者兼務、精神保健福祉士)

26年度分がアップされるのは、11月頃〜以降の予定です。

26年度 事業報告書、決算書類が閲覧できます。(直近3年度分)

県民ボランティア活動の広場 → ひょうごNPO法人 → 情報公開サイト
→ □三木市 (→ □保健・医療・福祉)
→ 指定した条件で検索する
■保健・医療・福祉を省略すれば、三木市の全法人が検索できる。
■兵庫県の全てのNPO法人が検索できる。



1日平均利用者数(人)

1日13.1人が利用(前年比1.3人▲)
延利用者数の男女比率・・・10.9:1

年度	25	26	増減	男性	女性
4月	15.2	15.7	0.5	14.7	2.0
5月	14.7	14.4	-0.3	13.7	0.7
6月	12.8	13.9	1.1	13.1	0.7
7月	13.1	12.5	-0.6	11.6	0.9
8月	12.4	12.5	0.1	11.8	0.7
9月	13.6	12.9	-0.7	11.7	1.2
10月	14.3	12.0	-2.3	10.7	1.3
11月	14.7	11.6	-3.1	10.3	1.3
12月	15.2	11.9	-3.3	10.5	1.4
1月	15.5	12.2	-3.3	11.1	1.2
2月	15.8	13.8	-2.0	12.4	1.4
3月	15.6	13.7	-1.9	12.2	1.4
合計	14.4	13.1	-1.3	12.0	1.1

利用者		年齢						
		~20	20~	30~	40~	50~	60~	
◆利用者契約人数	20人	1	1	8	6	2	2	
(26.3.31現在)		男	女	障害者年金	無	3級	2級	1級
		18	2	6	3	9	2	
◆通所者延人数(年)	3,318人	◆開所日数(年)/		253日				
◆1日平均通所者	13.1人							

以前は日常的に「給料」と呼ぶ・・・給料とは云えない/されど給料(?) 最近では「工賃」が定着してきた。

◆工賃支払い人数(平均) 17人/回
◆工賃・ボーナス総額(平均) 8418円/回
工賃平均(月) 10607
ボーナス平均(年2回) 8123
◆工賃支給総額(年) 242万円

17人前後/月の事務処理を行う。 支払対象<24>人/年

通所者が作業で得た収入から支払う。

職員給料		収入	
⇒◆給料・通勤手当・賞与	1180万円	訓練等給付金	2365万円(前年) 2478
⇒◆給料・通勤手当・賞与	511	会費収入	8
	1691万円	寄付金・助成金等	100
		負担金収入・雑収入等	180
		作業収入	250
		内職費収入等	0
		バザー売上	0
		2,903	3029

アクセス		保有不動産	
神鉄緑が丘一工房	2.1km (徒歩30分)	青山1-5	名和好子様から寄付(贈与)により取得 (21年12月)
神鉄緑が丘一公民館前	1.4km (バス5分) 150円	◆土地	247.99㎡
緑が丘公民館前一工房	0.7km (徒歩10分)	◆居宅	73.99㎡(木造瓦葺平屋建)

施設概要		別棟	
(旧緑が丘ガス事業所管理棟)	作業室 61.8㎡	喫煙ハウス	スチール物置
	多目的室(玄関) 30.9㎡	6.7㎡	9.4㎡
◆敷地面積 967.97㎡	休憩・談話室 14.1㎡	~屋内階段なし~	
◆建物面積 190.85㎡	湯沸し室 4.6㎡	ちょっと不便・非効率	
	湯沸し室 4.6㎡	駐車スペースは十分	
	物入(外部) 5.3㎡	三木市からの無償使用賃 恵まれています。	
	トイレ	2.7㎡	
	DK	8帖	
	事務室	6帖(和室)	
	和室	6帖/4.5帖	
	洗面スペース	2.7㎡	

~就労継続支援B型事業 第6年度~

- ◆年間253日開所、3,318人が利用 (1日平均利用:13.1人) 対前年▲1.3人
- ◆女性の利用が極めて少ない。(2面表) (男12.0人 女1.1人・・1日平均) ~同表4月の1日平均利用者 例~
- 2名の女性により月平均では1人の利用
- 19名の男性により月平均14.7人の利用(半数~2割強は休んでいる勘定になる)
- ◆利用者の工賃平均は8,418円/月
- 年額 298千円 ~ 300円 (最高~最低)

長谷川福祉会様から~

◆助成金100万円で1Fトイレ全面改修
1扉でやや大きな1室の中に、個室1と男子便器1が設置されていて、数的・質的にも不便を困っていた。
長谷川福祉会様(神戸)から助成金を得られたので、手持資金を加えた186万円で、専用女子トイレを増設する全面改修工事(工事期間1ヵ月)を発注。換気設備なども充実した快適なトイレが完成した(26年12月)。なにより、男女別になり、個室1増になったことで、利用者、職員一同快適利用



日当たりの良い二間続きの和室でビリヤードを楽しむ。

~ 寄贈住居を障害者福祉に利用 ~

青山1丁目に居住されていた名和好子様から、21年12月にNPO法人そよかぜねっとへ寄贈された住居を、法人から賃借して、平屋の純和風の落ち着いた風情のままに利用した、精神・知的障害者のための居場所「ポイントアート青山」を25年4月より運営しています。
利用者一人一人が自分の”人生のアーティストへ”との願いから名付けた日中一時支援サービスの施設です。
開設日時: 月~土 午前10:00~19:00
利用者: 小学生から成人まで 現在月、延 200名一人暮らしの人が作業を終えて帰りに立ち寄り夕食、入浴。下校時に定期的に利用、宿題して友達と遊ぶ。社会から孤立していた人の自宅まで迎えて、作業のないの場としています。
「ポイントアート青山ってええとこやで・・」「どこがええの?」「何もせんでええねん」「親戚のお家に来たようなあったかい所----という。
地域の人々に愛される「ポイントアート青山」へと願っている。
合同会社アイグルーは平成24年12月会社設立、現在三木市、大東市を中心に福祉事業(有料老人ホーム・就労継続支援B型・訪問介護・居宅介護・日中一時支援・計画相談等)を展開しています。

合同会社アイグルー 副代表 新銀輝子
ポイントアート青山 ☎ 0794-88-8839